

第 2 学年 2 組 算数科学習指導案

令和 7 年 1 1 月 1 3 日(木) 第 3 時限 場所 2 年 2 組教室

- 1 単元 かけ算 (2) (本時 1 1 / 1 3 時間完了)
- 2 本時の目標
乗法と加法や減法を組み合わせた問題について、順序立てて考え、その考え方を仲間に伝えることができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- 3 展開

段階	児童の活動	教師の活動
つ か む (6)	1 問題の把握をする。 ・1 枚 3 円の紙を 2 枚買うと、式は、 $3 \times 2 = 6$ で答えは 6 円です。 ・前の問題と違って、先に高さ 5 cm の積み木を 4 個積んで、その後に 8 cm の積み木を 1 個積みます。 2 学習課題を把握する。	・復習問題を出題した後、本時に行う 3 要素 2 段階の問題を提示する。 ・2 段階の問題であることと順序立てて考えれば解けそうだとすることに気づくことができるように、問題について前時との違いを問う。 ・学習課題を板書する。
ふ か め る (34)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> つみ木の高さをもとめるには、どのように考えたらよいだらう </div> 3 2 つの式をかいて、高さを求める。 【個の追究 I】 ・まず、 $5 \times 4 = 20$ <u>20 cm</u> ・次に、 $20 + 8 = 28$ <u>28 cm</u> 4 どのように考えたかをチーム内で説明する。 【かかわり合い I】 ・まず、高さ 5 cm の積み木を 4 個積んだ高さを求めました。 $5 \times 4 = 20$ で 20 cm です。次に 8 cm をたしました。 $20 + 8 = 28$ で 28 cm です。 5 全体で考え方と工夫した点を伝え合い、共有する。 【かかわり合い II】 ・問題文を順に考えて求めました。 ・「まず」や「次に」を使って問題の式を考えました。 6 練習問題に取り組み、チーム内で説明する。 【かかわり合い III】 ・まず、9 円の色紙を 6 枚買うので、式は、 $9 \times 6 = 54$ で 54 円です。 次に、80 円ののりを買うので、式は、 $54 + 80 = 134$ <u>134 円</u> 7 本時の振り返りをする。【振り返り】	・全員が見通しをもてるように、再度何から考えるかを確認し、「まず」、「次に」の言葉を引き出して板書する。 ・児童が操作しながら考えられるように、チームに積み木を 1 セット用意する。 ◎順序立てて説明できるように、【個の追究 I】で用いた「まず」や「次に」を使うように促す。 ・机間指導の時に、「まず」や「次に」を使って正しく説明している児童を称賛する。 ・チームの発表を聞く時に、相槌や言葉を使って反応している児童を称賛する。 ・考える際の工夫点を共有できるように「問題を解いてみて、前にやった問題と違ったところはどこかな。」と問う。 ・題意が捉えにくい児童に対して、挿絵をもとに解く順番を確認する。 ・問題が解けた児童には、チーム内で教え合うように促す。
ふ り か え り (5)	・問題の意味を確かめて、式を順番に立てると求めることができました。	・授業を振り返り、できたこと、分かったことなどを書く時間を設ける。

- 4 評価
「まず」「次に」という言葉を使いながら 2 段階の式や計算を考え、どのように考えたのかチームや全体で仲間に伝えることができたか。(活動 4、5、6 の様子、7 の振り返りの記述から)